

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成31年01月18日

計画の名称	笠岡市地域住宅等整備計画												
計画の期間	平成30年度 ～ 平成34年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	笠岡市												
計画の目標	・「活力ある福祉都市かさおか」を目指し、若者や子どもが夢と希望を持てるまち、お年寄りや体の不自由な方々が安心して暮らせるまちを実現するため、老朽化が著しい市営住宅の外壁を改修するなどの施策を実施し長寿命化を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,035	A	1,021	B	0	C	14	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	1.35	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（H30当初）		（H34末）
1.	・市営住宅の長寿命化対策の推進（長寿命化計画の達成率の増加） 建設後30年以上経過した中層耐火構造及び簡易耐火構造2階建市営住宅のうち、長寿命化のための改善事業を実施したものの割合。 （改善事業実施済戸数）／（対象管理戸数） H30：112戸／419戸 H34：278戸／583戸	27%	%	48%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
地域住宅計画に基づく事業	A15-001	住宅	一般	笠岡市	直接	笠岡市	－	－	地域住宅計画に基づく事業（公営住宅等整備事業（建替））	市営住宅の建替設計・除却整地（120戸）	笠岡市				■	■	733	0.9225	策定済	
	A15-002	住宅	一般	笠岡市	直接	笠岡市	－	－	地域住宅計画に基づく事業（公営住宅等ストック総合改善事業）	市営住宅の外壁改修等（166戸）	笠岡市		■	■	■	■	■	237		策定済
	A15-003	住宅	一般	笠岡市	直接	笠岡市	－	－	公営住宅等ストック改善事業	長寿命化計画見直し調査事業	笠岡市			■				13		－
	A15-004	住宅	一般	笠岡市	直接	笠岡市	－	－	公営住宅等ストック改善事業	十一番町ビル（特定公共賃貸住宅）エレベーターリニューアル整備事業（28戸）	笠岡市						■	38		策定済
												小計						1,021		
											合計						1,021			

C 効果促進事業																					
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
		一体的に実施することにより期待される効果																			
		備考																			
地域住宅計画に基づく事業	C15-001	住宅	一般	笠岡市	直接	笠岡市	－	－	エレベーターリニューア ル整備事業	本町ビル（その他住宅）エレ ベーターリニューアル整備事 業（47戸）	笠岡市		■				14		－		
		当該住宅のエレベーターリニューアルにより，安全性・耐震性が高まり，基幹事業として平成28年度に実施した中央ビル（改良住宅）と，平成34年度に計画する十一番町住宅（特定公共賃貸住宅）住民との相互利用・交流を促進できる。十一番町住宅での工事の際には，階段の使用が困難な高齢入居者等へ，本町ビル空き部屋の一時的使用により，生活支援を充実できるなど効果が期待される。																			
												小計						14			
													合計						14		

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H30	H31	R2	R3	R4
配分額 (a)	17. 815	29. 840	24. 102		
計画別流用 増△減額 (b)			△ 2. 025		
交付額 (c=a+b)	17. 815	29. 840	22. 077	0. 000	0. 000
前年度からの繰越額 (d)			2. 086		
支払済額 (e)	17. 815	27. 754	24. 138		
翌年度繰越額 (f)		2. 086			
うち未契約繰越額 (g)		0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0. 000	0. 000	0. 025	0. 000	0. 000
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0. 0%	0. 0%	0. 1%	#DIV/0!	#DIV/0!
未契約繰越＋不用率が10%を超えている 場合その理由					

※ 平成30年度以降、各年度の決算額が確定でき次第記載。

事前評価チェックシート

計画の名称： 笠岡市地域住宅等整備計画

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ★①計画の目標が基本方針と適合している。	☐
I. 目標の妥当性 ★②地域の住宅ストックや住環境整備の状況等、現状分析が適切になされている。	☐
I. 目標の妥当性 ★③地域の住宅政策上の課題を的確に踏まえた目標となっている。	☐
I. 目標の妥当性 ★④関連する各種計画（住生活基本計画等）との整合性が確保されている。	☐
I. 目標の妥当性 ⑤緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。	☐
I. 目標の妥当性 ⑥数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	☐
II. 計画の効果・効率性 ★①事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	☐
II. 計画の効果・効率性 ★②十分な事業効果が得られることが確認されている。	☐
II. 計画の効果・効率性 ③事業効果は、数値、指標等を用いて客観的に示されている。	☐
II. 計画の効果・効率性 ④事業の実施に当たり、福祉施策等との連携が図られている。	☐
II. 計画の効果・効率性 ⑤事業の実施に当たり、民間活力の活用が図られている。	☐
II. 計画の効果・効率性 ⑥事業効果をより高めるため、ハード事業とソフト事業を効果的に組み合わせる等の工夫がなされている。	☐
II. 計画の効果・効率性 ⑦地域の実情に応じた創意工夫に基づく事業が盛り込まれている。	☐
II. 計画の効果・効率性 ⑧地域再生計画に地域住宅交付金の活用についての記載をしており、内閣総理大臣の評価を受けている。	☐
III. 計画の実現可能性 ★①事業熟度が十分である。	☐

[illegible]

チェック欄

III. 計画の実現可能性

★②計画に記載された事業に関連する地方公共団体等の理解が得られている。

III. 計画の実現可能性

★③地域住宅計画を公表することとしている。

III. 計画の実現可能性

④地域住宅協議会等、関係地方公共団体等の意見調整の場が設けられている。

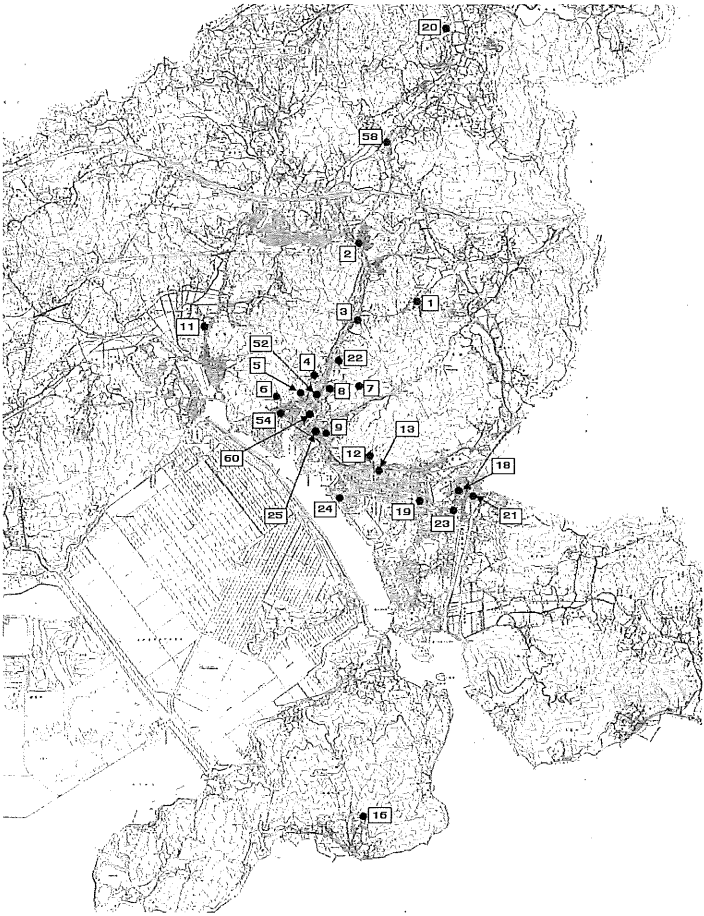
III. 計画の実現可能性

⑤計画内容に関し、住民に対する事前説明が行われている。

III. 計画の実現可能性

⑥計画期間中の計画管理（モニタリング）体制が適切である。

(参考図面) 地域住宅支援

計画の名称	笠岡市地域住宅等整備計画		
計画の期間	平成30年度～平成34年度(5年間)	交付対象	笠岡市
1 市営住宅団地所在地			
			
市営住宅団地一覧表			
番号	団地名	備考	
1	園井	1-A1-1 公営住宅等整備事業(建替)	
2	追分		
3	田頭		
4	八幡平東		
5	八幡平西		
6	西本町		
7	殿川北		
8	昭和寮		
9	浜田		
11	金浦		
12	伏越		
13	大磯		
16	神島外浦		
18	富岡	1-A1-1 公営住宅等整備事業(建替)	
19	一番町	1-A1-2 公営住宅等ストック総合改善事業	
20	吉田		
21	小黒崎	1-A1-2 公営住宅等ストック総合改善事業	
22	大久保		
23	樋守		
24	十一番町	1-A1-4 公営住宅等ストック総合改善事業(エレベーターリニューアル整備事業)	
25	本町ビル	1-C1 エレベーターリニューアル整備事業	
52	八幡平中		
54	西本町川西		
58	小平井		
60	中央ビル		
—	全団地対象	1-A1-3 公営住宅等ストック総合改善事業(長寿命化計画見直し調査事業)	